

東そ の ぎ 議 会 だ よ り



多くの地区では、少雨による水管理に苦労された1年でした。(無人ヘリによる農薬散布)

もくじ

2～4ページ	9月定例会(決算認定、補正予算、条例改正等)
5～10ページ	一般質問(5名が町政を問う!)
11ページ	その他
12～13ページ	町内現地調査報告
14ページ	大人の部活動紹介



東彼杵町ホームページ
議会情報

令和7年度 歳入歳出決算を認定！

令和7年度の一般会計、特別会計（4会計）及び企業会計（2会計）の決算審査特別委員会を9月8日～10日に開催し、全委員一致で認定しました。

1）一般会計及び特別事業会計

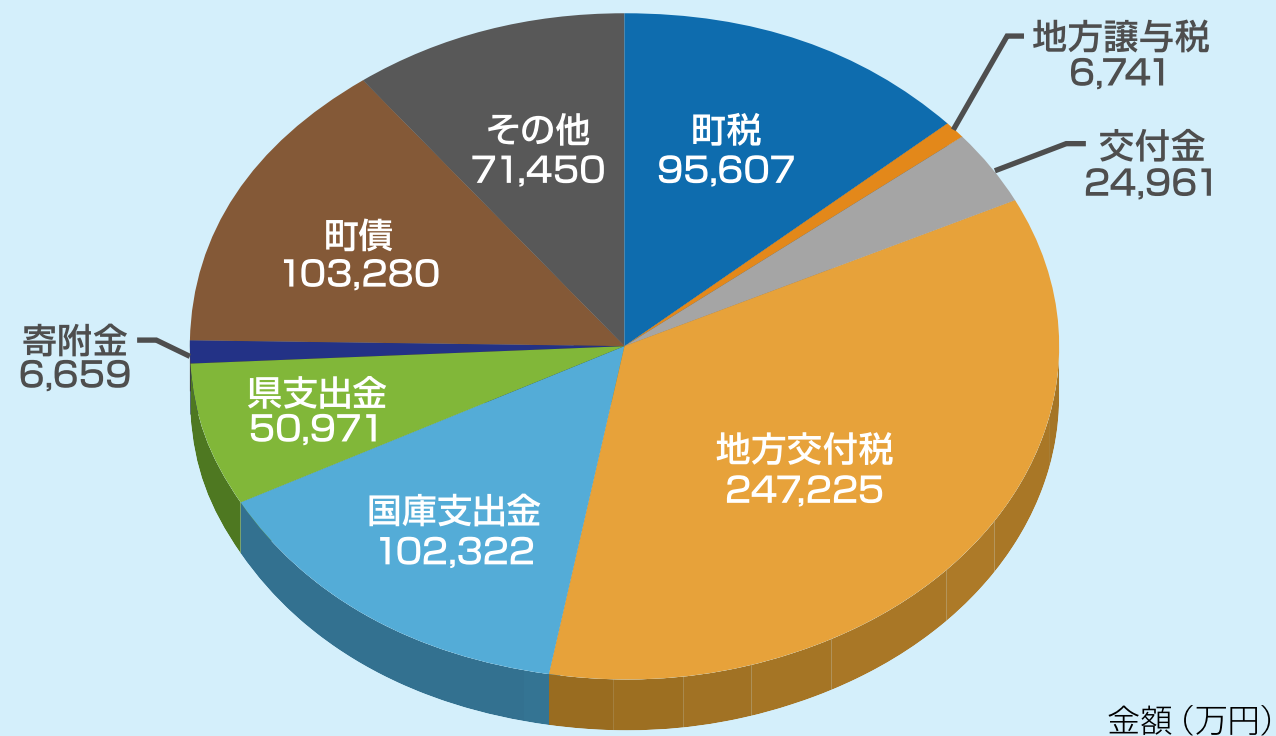
（単位：千円以下切捨て）

会計名		歳入	歳出	差引額	積立金	実質単年度収支
一般会計		70億9,215万円	68億6,862万円	2億2,353万円	108万円	△207万円
特別会計	国民健康保険事業	10億7,407万円	10億1,793万円	5,613万円	13万円	2,594万円
	介護保険事業	8億6,844万円	8億2,786万円	4,057万円	7万円	1,476万円
	公共用地等取得	37万円	6万円	30万円	6万円	6万円
	後期高齢者医療	1億5,354万円	1億5,126万円	228万円	0万円	24万円
合計		91億8,859万円	88億6,575万円	3億2,283万円	135万円	3,894万円

（委員会での主な意見）

- ・地域福祉基金の用途については、関係部局で十分な協議を図り実施されたい。
- ・水産振興事業においては、安定した漁獲高になるよう創意工夫すべきと思われる。
- ・多目的駐車広場（道の駅）の開閉業務は、公募すべきものと思われる。
- ・消防団員の年額報酬は、条例に基づき個人の口座に支給するよう改善されたい。

一般会計歳入の内訳



2）公営企業会計

①水道事業会計

（単位：千円以下切捨て）

区分	収入	支出	経常利益
収益的	2億4,864万円	2億4,611万円	253万円
資本的	1億8,131万円	3億 404万円	△1億2,273万円
合計	4億2,995万円	5億5,015万円	△1億2,020万円

（委員会での主な意見）

- ・水道事業は独立採算が原則であり、2年連続赤字決算となっているので経営戦略に沿った計画の実施と有収率向上を図られたい。
- ・水道料金の収納対策を強化し、収納率向上を図られたい。
- ・料金体制の見直しは避けて通れない状況であり、住民説明会を実施し、周知に努められたい。

②下水道事業会計

（単位：千円以下切捨て）

区分	収入	支出	経常利益
収益的	3億2,660万円	2億9,120万円	3,540万円
資本的	8,009万円	1億6,019万円	△8,010万円
合計	4億 669万円	4億5,139万円	△4,470万円

（委員会での主な意見）

- ・下水道への接続率向上に努められたい。

3）財政健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和6年度	—	—	8.8	19.4
令和7年度	—	—	8.8	22.1
早期健全化基準	15	20	25	350

※実質公債費比率とは？

町の収入に対する借金返済の割合です。数字が大きいと財政が苦しく新たな借金に制限がかかります。

※将来負担比率とは？

将来的に返済する借金等を収入や財政規模と比較して、割合を示したものです。



マンホールカードとは、楽しみながら下水道に興味を持っていただくことを目的に企画作成された、コレクションカードです。全国各地で1,300種類以上のカードが配布されていて、年間2,000人を超える人が東彼杵町のカードを求めてこの町に訪れています。

**一般会計予算総額
70億2,142万円に増額
水道使用料の改定(値上げ)は継続審査**



令和8年第3回定例会が9月3日に招集され、議案の審議を行いました。提案された議案は、条例の一部改正12件、補正予算5件、決算認定等7件(P2～P4参照)、請負契約の締結1件、固定資産評価委員の選任1件でした。この他に選挙管理委員の選挙1件、報告2件、要請1件で9月18日に閉会しました。

可決した主な議案

○役場位置を定める条例改正

(新庁舎建設予定地を彼杵児童体育館付近に変更するもの)

○家庭的保育事業の設備及び運営に関する条例改正

(満3歳以上限定小規模保育事業の新設及び児童対象性暴力等の防止に係る規定を新設する)

○一般会計補正予算(第5号)(第6号)

(衛生費に保健センター空調に係る施設修繕費など2,242万円、土木費に宿3号線に係る改良工事など4,363万円、教育費に体育館空調基本計画及び実施設計業務委託料など2,966万円、災害復旧費に令和8年発生災害復旧工事など1,780万円などが計上され、1億8,457万円増額の総額70億2,142万円となっています。)

○請負契約の締結・・・準用河川山田川改修工事(その3)

(株式会社 中野組 請負金額 8,065万6,400円)

○固定資産評価委員会委員の選任・・・(福田 光宏 氏)

○水道事業給水条例改正

(財政基盤の強化を図るため令和10年4月から水道使用料の改定を行うもの)

産業建設文教常任委員会に付託され審査した結果、人口減少に伴う料金収入の減少、施設更新費用の増加及びコスト上昇等の財政見通しをデータで示し「値上げをしないとどうなるのか」等を町民の皆さんに説明することが優先されるとし、継続審査となりました。

委員会としても近隣自治体や県内の状況を調査研究していきます。

一般質問

「5名が町政を問う！」

【質問内容】

- 1 大石議員 (P-5) 1 東彼杵町上水道事業経営(新庁舎建設関連質問を含む)について



- 2 構議員 (P-6) 1 煙霧消毒機械の必要性について
2 彼杵駅、千綿駅周辺等の活用及び「どこっ茶バス」の延伸について



- 3 児玉議員 (P-7) 1 人口減少(自然減と社会減)対策には何が必要なのか
2 地方債(町債)残高と将来の財政負担はどうなるのか
3 「どこっ茶バス」の休日運行はできないのか



- 4 尾上議員 (P-8) 1 東彼杵漁港音琴地区の安全管理について
2 下三根の河川敷公園について
3 毎年自治会から出される要望(ヒアリング)について



- 5 大安議員 (P-9) 1 空き家対策の実績と課題は
2 東彼杵道路の進捗と評価は
3 国道205号の恒常的な渋滞認識について



9月3日の一般質問傍聴者は、21人でした

(本稿は、質問者の責任で作成しています)

※一般質問の動画(DVD)は、図書室(歴史民俗資料館内)にて貸出を行っています。

議員

水道管の耐震化率改善ですか？ それとも、新庁舎建設、優先ですか？

町長

20億円以上の建設費であれば、
新庁舎建設は止めます。



おおいし としろう
大石 俊郎

今後の水道料金、改定の 答申書骨子

上下水道事業経営審議会
は、令和7年9月から5回に
わたり実施されました。

水道経営は独立採算が原
則であり、水道使用料によ
り必要な経費を賄う必要が
あると提言しております。

結論として、現行の基本
料金1,950円から2,3
40円への料金値上げを、令
和9年4月1日か
ら実施するという
答申内容です。



今後の水道料金値上げは

【議員】

水道料金値上げを1年
延期した場合の減収額は、

【町長】

令和6年度と比較して、
来年度は約500万円程度
の減収と試算しています。

【議員】

赤字補てんは、一般財源か
らであり、その厳しい財政
運営の対策は、

【町長】

まずは、自主財源を増や
す取り組みを進めます。

特にふるさと納税の拡
充・工業団地整備・企業
誘致の推進です。

【議員】

料金先送りの是非につい
て、どのような方々で、どの
位の時間をかけて検討され
たのですか。

【町長】

町長、副町長、総務課長、
水道課長、課長補佐で、2
時間かけて検討しました。

【議員】

水道事業経営は、令和6
年度においては、約千百万
円の赤字となりました。
この要因は何でしょうか。

【水道課長】

給水人口の減少、人件費、
物件費の上昇が要因です。

【議員】

令和6年度東彼杵町の
有収率は76.2%、長崎県
の平均値85%に遠く及び
ません。

有収率改善への対策は、

有収率とは、浄水場から
送り出された水のうち、料
金として収入に結びついた
水の割合を示す指標であ
り、100%に近い数字ほ
ど望ましい。

【町長】

有収率を高めるために
は、漏水対策を進める必要
があります。

すなわち365日、24時
間漏水している現在の状況
の改善が必要です。

【議員】

現在の供給単価約196
円に対し、令和6年度は約
234円の維持費用がか
かっています。令和12年度
は約313円、令和22年度
は約464円と上昇が予測
されています。

水道料金改定以外に、こ
の急激な上昇を抑えるため
の方策はありませんか。

【水道課長】

広域連携による経営の合
理化が必要です。

具体的には、薬品、資材、
消耗品などの共同調達、維
持管理の共同委託、財務会
計システム検査業務等の共
同委託を検討中です。

【議員】

答申書では「町の水道施
設の大半は耐震機能を有し
ておらず、地震の際、安定供
給を維持するために水道管
の耐震化を加速していく必
要がある」としています。

今回の熊本地震から何
か学ばれたことはありませんか。

【町長】

電気・水道が一番大きな
問題だと考えています。

ただ、町内の水道管の距
離は川棚町の2倍あり、全
て網羅して耐震化するのは
非常に難しく、大きい避難
所に接続するところを優先
したいと考えています。

【議員】

新庁舎建設費用は、約1
7億5千万円以内でした。
この金額に変更はありませ
んか。

【町長】

デザインビルド方式のた
め変更はありませんが、も
し20億円、30億円になっ
たら中止をします。

【議員】

大きな地震が発生したと
き、町民の長期避難はもと
より災害関連死が生起する
恐れがあります。

町民の生活や生命を優
先されるのか。新庁舎建設
を優先されるのか。

【町長】

新庁舎建設とあわせて、
国からの補助金3分の1を
活用し、水道管耐震化も進
めていきます。

彼杵駅の屋根付き駐輪施設(ラック式)及び 駐車場の区画線の設置は

JR敷地ですので、JRへ要望する



かまえ ひろみつ
構 浩光

煙霧消毒機械の必要性 については

〔議員〕

煙霧消毒機械の台数及び直近の購入年月日及び購入価格は。

〔町長〕

煙霧消毒機械は10台。令和元年7月4日2台購入、1台の金額は、45万3千600円です。

〔議員〕

煙霧消毒の過去5年間の地区数及び世帯数は。

〔町長〕

年度	地区数	世帯数
4	24	674
5	23	701
6	24	593
7	25	616
8	19	396

〔議員〕

以前2級河川千綿川が氾濫し、東宿、西宿の被害状況及び対応策は。

〔町長〕

直近で昭和51年台風17号災害です。地区別の被害数は不明ですが、町内76戸の床上浸水、222戸の床下浸水の被害



状況が確認されています。煙霧消毒は、行われていると思います。

〔議員〕

線状降水帯による大雨、台風等により河川が氾濫し住宅に影響した場合の感染症対策は。

〔町長〕

浸水した家屋の感染症対策は、厚生労働省から示されているとおり、清掃と乾燥が最も重要となります。汚泥等を取り除きしっかりと乾燥させ、床上については、次亜塩素酸ナトリウムの希釈液や消毒用アルコール等を使用し、布で拭き消毒をします。床下や庭の消毒は原則として不要です

〔議員〕

煙霧消毒機械払い下げは。

〔町長〕

事業の廃止に伴い現在検討中、希望される地区もあり、要望調査を行う。耐用年数も過ぎ無償で地区に払い下げたい。

彼杵駅、千綿駅周辺等の活用及び「どこっ茶バス」の延伸については？

〔議員〕

彼杵・千綿の駅舎、駐車場及び駐輪場の所有は。

〔町長〕

彼杵駅のトイレ以外は、JR九州、千綿駅舎、敷地等は町の所有です。

〔議員〕

彼杵駅駐輪場に屋根付き駐輪施設(ラック式)の設置及び駐車場の区画線について。

〔町長〕

彼杵駅は、JRの敷地で町での設置は考えていない。列車の利用ですのでJRへ申し入れを行う。

〔議員〕

千綿駅に「ふたつ星4047」が、16時20分から10分間停車しますが、特産物の販売内容は。

〔町長〕

お茶、苺、ほうじ茶、ジャム、クッキー、くじら焼などです。

〔議員〕

千綿駅で特産品の販売等を含め、おもてなしができないか。

〔町長〕

千綿駅は、本町の重要な観光拠点であり、観光先の



駐輪施設



彼杵駅

ますますの充実と産業振興と考え、関係機関と協議、検討していきたい。



千綿駅



販売状況

〔議員〕

嬉野温泉バスセンターまで「どこっ茶バス」が運行されていますが、嬉野医療センターの近くまで運行できないか。

〔町長〕

町の地域公共交通会議で協議し承認を得る必要があります。嬉野市内の乗り入れに関し、嬉野市の公共交通会議の承認が不可欠であり、交通自動車、警察、住民代表など利害関係者が参加し、運用上全会一致の合意形成が求められています。嬉野市と協議し、嬉野医療センターまでの乗り入れを要望しましたが、嬉野バスセンターから俵坂バスセンターのJRバス廃止区間が、デマンド交通の運行拡大が承認された経緯があります。運行は、現状どおりです。



こだま たかゆき
児玉 隆行

人口減少対策には何が
必要なのか？

1995年の国勢調査の人口は(10,349人)でしたが、最新の2025年には(速報値7,125人)となり、30年間で約3割が減少しています。

長期的な人口減少の対策では、自然減対策と社会減対策を分けて実施する必要があります。

(自然増減とは)
出生数と死亡数の差。
(社会増減とは)
転入数と転出数の差。

【議員】

人口減少の要因と自然減及び社会減の実態は？

【町長】

人口減少の大きな要因は自然減と認識している。

	出生 者数 ①	死亡 者数 ②	自然 増減 ①-②	転入 者数 ③	転出 者数 ④	社会 増減 ③-④
令和3年度	37	113	▲76	211	240	▲29
令和4年度	33	143	▲110	303	259	44
令和5年度	31	137	▲106	245	278	▲33
令和6年度	32	138	▲106	323	292	31
令和7年度	31	111	▲80	258	262	▲4
5か年平均			▲96			2

住民基本台帳による数値を年度で示しています

【議員】

町の政策や施策で減少幅を抑えることが可能か？

【町長】

町の施策によって、減少幅を抑えることが可能だが、増やすことは難しい。

【議員】

これからの施策をどうするの？「人口減少鈍化計画」を作成してはどうか？

【町長】

まず社会減をプラスにし、次に自然増対策を進める。
施策の展開は、



- ① 社会増減を増にする
- ② 若い世代を定着させる
- ③ 出生数を増やす
- ④ 自然減を低減させる

町債(借入金)と将来の財政負担はどうなる？

【議員】

町債残高と推移は？

【町長】

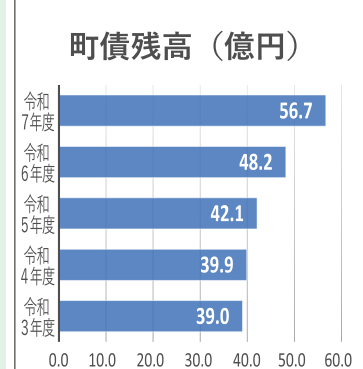
昨年度末で57億円ですが、この内38億円は交付税で補てん(軽減)され、実質負担額は19億円です。

【議員】

年間の町債を償還金(返済)以下に抑えて、残高を縮減してはどうか？

【町長】

来年で降も数年は増加が続くと見込んでいる。



【議員】

実質公債費比率は、将来どう推移すると見込んでいるのか？

【町長】

財政運営や町税の減収予測、人口減を想定し、シミュレーションを作成している。
一番厳しい条件での試算では、令和34年度に16%(最大値)と見込んでいる。

町債残高より実質公債費を重要視している。

実質公債比率とは？

町の標準的な年間収入に対し、借入金等の占める割合を言います。

許可制限基準の18%を超えると、許可制となり町独自の判断での借入が難しくなります。(3年間の平均値)

「どっこ茶バス」の休日運行は出来ないのか？

【議員】

町を代表するイベントの「そのぎ茶市」の期間は土日と重なりバスは運休です。移動手段確保のために、臨時運行は出来ないのか。

【町長】

来年から運行します。



大勢の人が来場する「そのぎ茶市」

【議員】

バス停の新設や場所の変更の声は、誰が町に届けるのか。

【総務課長】

各区長を通して町に要望して下さい。



おのうえ しやうじろう
尾上 庄次郎

音琴漁港の潮の流れは？

【議員】

線引き（管理区分）については認識しているのか。

【町長】

承知している。

【議員】

令和8年7月23日に県北振興局の港湾担当の方が来ることを知っていたのか。

【建設課長】

案内はいただいたが町の職員は行っていない。

【議員】

漁港内に梅雨時期に入り込んだゴミや雑木など、港内に溜まり船舶の出入りに支障をきたしているため、その対策は。

【町長】

町の領域であり、「ゴミ、雑木は漁業関係者がゴミを上げてもらい町で運んで処分する方法をとっている。

【議員】

港内に入った雑木などにより船舶が故障した場合の所在は。

【町長】

自然にさからうことは出来ないが状況をふまえ、適切に対処したい。

【議員】

現状は流れついたゴミ等があるだけで流失しない状況である。ブロックによって現状よりも潮の流れを変えることが出来ないのか。

【町長】

消波ブロックは県でしてもらっており県にどういう状況なのかを聞いてみる。



音琴漁港入口

下三根の河川敷公園の階段状の段差が腐食している為その改善については。

【議員】

段差が3m×20mあり木材で出来ており腐食しており見た事は。

【町長】

一級河川であり県の管轄である。以前川まつりで行った事はあるが管理は長崎県である。

【教育長】

例年小学4年生の環境学習の一環で水質調査をしており、長崎県および町民課、環境衛生係にお世話になり外部講師よりとび越えたりしたらだめですよとかの安全指導を受けながらベンチとしている場所であるが学校側としての要望までには至っていない。

【町長】

教育委員会と協議して県議を通してお願いする。



階段状の段差

各自治会から出されるヒアリング要望の進捗状況は。

【議員】

要望事項はどの位あるのか。

【町長】

令和7年度に出された要望は133件あり、111件が町道の管理で80%を占

めている。外22件は河川、農林業である。

【議員】

現在4名の方が建設課に専門に町道の管理をされておりますがなかなか大変です。昭和時代の頃の要望についてはどうなのか。

【町長】

年次ごとに整理されていないため毎年毎年各地区において事業の必要性や地域の状況に応じて出される為優先順位が違ってくる傾向である。

【議員】

近年自治会にはいつておられる方がかなり減りその声はどうしているのか。

【町長】

自治会にはいつていない未加入者の声は電話やメールで町の課で聞いています。必要に応じて職員が現場確認し、緊急にしなければならぬ場合は町役場職員です。全体では10億円位の積み残しがあるだろうと思う。なるべく地域を通して意見を聞くようにしたい。



要望受付

議員

空き家対策、その成果と、町の次の一手は？

町長

官民の連携と、周知の強化で、さらに前進！



だいあん よしかず
大安 義和

「空き家対策特別法」が
2023年12月13日に施
行されました。

【議員】
管理不全・特定空家への
対応実績は。

【町長】
認定件数19件、助言指導
6件、勧告及び命令その他
の措置0件、改善・除却13
件である。

【議員】
管理不全空家等の実態
把握は。

【町長】
平時からのパトロールに
加え、住民からの通報をも
とに、現地確認を実施して、
破損、屋根・外壁の劣化、
植栽の繁茂による、周辺環
境への悪影響などを、総合
的に分析し、現地調査をも
とに判断している。

【議員】
支援法人・県の事業との
連携は。

【町長】
「長崎空き家deミライ
事業」を県と連携して、その
運営費や改修等を支援す
るために、「一般社団法人・東
彼杵ひとこと」の公社及び

(株)Albalinxを、支援法人
に指定した。

今年9月にこの2者と連
携して、本町で初めてとな
る「相談会」を開催する。

【議員】
今後の課題は。

【町長】
町と支援法人と連携し
た空き家対策が、住民の皆
様に十分に行き届いておら
ず、今後、より多くの町民の
皆様への、周知強化、に努め
たい。



東彼杵道路の進捗は。

【議員】
目に見える形での進捗が
乏しいのでは。

【町長】
目に見える工事が少ない
ことから、停滞しているの
はと、町民の皆様が思われ
ているのは認識している。

環境影響評価準備書の作
成や、都市計画案の決定に

向けた手順が、進められて
いるとの説明を受けている。

【議員】
要望活動による成果は。

【町長】
大会も含め町長自らが出
席することが重要であり、
成果は着実に進んでいる。
地元の熱意を見せるため
にも活動を迅速化する。

路線配置図



地域図



国道205号の渋滞につ
いて

【議員】
渋滞の発生要因の認識は。

【町長】

道路が片側一車線、交差
点における右折・左折車両、
信号待ち、沿線施設への出
入等、様々な要因が重なっ
ていると思う。

【議員】
道路管理者との協議と
成果は。

【町長】
機会があることに意見交
換を励行し、抜本的な渋滞
の解消には、補完的な機能
として「東彼杵道路」の早期
事業化が重要との共通認
識にある。

【議員】
短期的な実施可能な対
策は。

【町長】
島田地区立神の、信号機
の「青信号の時間延長」を警
察に要望し、交通渋滞の緩
和につなげたい。



国道205号の渋滞

7 月 臨 時 議 会 の 内 容

令和8年第2回臨時議会が7月27日に開催され審議を行い、全会一致で可決されました。
一般会計予算総額は、68億3,685万円（4,640万円増）となります。

提案された議案は3件、主な内容は下記のとおりです。

○消防団指揮車の購入

・・・（契約額649万円、購入先・株式会社ナカムラ消防化学）

○一般会計予算専決処分

・・・（6月末発生豪雨による災害に対応する緊急工事費など500万円）

○一般会計補正予算

・・・（工業団地整備に関する環境影響評価業務委託料など4,140万円）

東 彼 杵 中 学 校 『輝く』

吹奏楽部は、3町合同（川棚中、波佐見中）
で出場した、第71回長崎県吹奏楽コンクール
において【優秀賞】、第39回長崎県マーチング
コンテストにおいて【銀賞】を受賞しています。



剣道部は、7月の長崎県中学校総合体育
大会で**3位**となった男子団体及び女子個人
が九州大会に出場しました。





町内現地調査報告



総務厚生常任委員会

ふるさと納税額、激減(令和7年度) 今後の各種事業実現に暗雲

令和8年7月14日、ふるさと納税の現状及び災害対応について調査しました。

1. ふるさと納税

(1) 税財政課からの説明

- ① 令和7年度のふるさと納税額減額（令和6年度の約3億6千万円から約6千万円へ）で大きな打撃を受けた部門は、水産物、次いで畜産物でした。
- ② 現在の中間業者との契約は結デザイン有限会社（島原市）であるが、令和10年度から東彼杵町観光協会に完全移行させる計画である。
- ③ 今後の対策は、これまで寄付を頂いた特別町民への登録依頼や木場みのり会と小森地域プロジェクトマネージャーとの共同による商品開発に取り組む。



(2) 結デザイン有限会社からの説明

- ① 多くの自治体寄付に関わっておられ、前年度と比較し約11%増の受託サイト、寄付金額合計約235億円の事業成果を収められている。
- ② 協力的関係にある東彼杵町観光協会への手数料は、寄付受け入れ金額の1.5%である。

(3) 委員会からの提言

- ① 令和10年度から結デザイン有限会社から東彼杵町観光協会に完全移行させる計画であるが、委託先変更にあたっては、前回変更した失敗事例もあり慎重に検討されたい。
- ② 町の収入は令和6年度と令和7年度と比較して、約1億3,500万円の大幅減収となっている。その問題解決のためには、サイトのレビュー(※)復活が急務であり、町当局、結デザイン有限会社、東彼杵町観光協会の更なる連携強化が望まれる。
※ 自治体へ寄付をして返礼品を受け取った人が、感想等を投稿した口コミのこと
- ③ ふるさと納税額の大幅な減少は、将来の各種事業実現に大きな暗雲をもたらすものであり、この責任は計り知れないと言わざるを得ない。町長以下、関係者は総力を挙げて町民の信頼回復に努められたい。

2. 災害対応

委員会からの提言

- ① 賞味期限切れ(今年6月、7月)の処置について2地区(中岳、大音琴)は全て町当局に返納されたが、税金を投入した貴重な食材であり、非常用食品の実状及び活用について町民に深く理解して頂くことが極めて重要であり、広報のあり方については更に検討されたい。
- ② 主たる避難所である総合会館や農村環境改善センターにおける非常用食品等の備えは、即応性の観点から必要と思われるので見直しを検討されたい。
- ③ 避難行動要支援者名簿(55名)は、平素から各自治会において名簿の把握を徹底し、具体的避難対応を確立することが必要であり、早急な検討を講じられたい。



産業建設文教常任委員会

小さい町から、大きな挑戦! 地域を動かす企業の現場へ

令和8年7月29日 に町内の企業へ現地調査を実施しました。

1. 株式会社 FORTHEES (フォーティーズ)



てん茶工場内



会議・商談にも利用される抹茶カフェ ちやいむ

- ① 海外では「お茶＝抹茶」という認識が多かったことから、2018年に起業されました。
- ② 販売は、大量生産型のハイブリッド方式ではなく、品質にこだわった本碾炉による製法を採用し、高付加価値の商品として、国内及び外国に販売しているとのこと。
- ③ 今年度に工場を増設し、生産量を1.5倍に増やす計画とのこと。
- ④ 課題は、人手不足に加え近年の猛暑による作業効率の低下と、水不足による茶畑の土壌環境への影響が懸念されるところのこと。

2. 株式会社 彼杵の荘(そのぎのしょう)



加工施設内



意見交換会

- ① 施設の建屋面積は、189.1㎡で、衛生管理としてHACCP(ハサップ：食品の安全を守るための、衛生管理方法)の考え方を取り入れ、食品衛生管理責任者が許可した人以外の立入を禁止し、安全性に実績のある設備を導入しているとのこと。
- ② 製造した全ての商品については、食品表示表、食品衛生法に基づき「製造者(株)彼杵の荘」と表示しているとのこと。
- ③ 12月31日と1月1日から3日を除き、稼働時間は、午前6時から午後5時まで稼働しています。加工品目は各種惣菜、軽食弁当の下準備、饅頭、漬物、菓子類とのこと。
- ④ 魚をおろしたりさばいたりできる人、お菓子やおいしい惣菜を作れるなどの技術を持つ人の確保が必要であること。加えて、労働基準法(最低賃金)や、健康保険法に対応しながら、設備投資と事業の継続に必要な経営を両立させ、今後は、地域の素材を確保しながら、生産者にも利益が届く仕組みを構築し、広い視野に立つことが重要になってくるとのことでした。

大人の部活動紹介

【部活動名】 あなたの居場所『みんなおいでよ』（NPO法人 おんぶにだっこ）

【スタッフ人数】 のべ50人ほど（随時受付中）

【部発足】 平成30年4月（2018年）

【開催場所・開催日時】

東彼杵町総合会館 毎月1回 第3土曜日

千綿農村環境改善センター 不定期（年3回程度）

時間 10：00～15：00（食事は11：30～13：30）

【主な活動】

居場所開催・イベント開催

（食材・資金の調達・調理配膳・情報交換・異世代交流等）

子ども食堂ネットワーク、フードバンク、企業、地域からの寄付や寄付金で運営



活動風景

クラフト教室



スタッフ交流会

ある日のメニュー

うれしい おてがみ



【スタッフの声】

「何かしらお役に立っていると思えて、自分のためにもなっている」

「たくさんの方に出会えること、ここでの出会いが楽しみ」

「おいしそうに食べてくれる、笑顔が見られることがうれしい」など

【主将(木下理事長)からの一言】

あなたの居場所『みんなおいでよ』は、食事提供だけでなく、孤食の解消や地域交流の場として機能します。地域住民やボランティアが運営し、子どもから高齢者まで集う地域の居場所となっています。一人でも多くの方に、この活動に関わっていただき、それぞれの「できること」を無理なく続けていくこと。その積み重ねが子どもたちの未来や地域の豊かさを育むと私たちは信じています。

7月発行分の2ページ1段目において、誤りがありました。× 召集⇒○招集

今後も、文章の表現等について慎重に校正を行ってまいります。

議会広報編集常任委員会

委員長：児玉 隆行 副委員長：構 浩光

委員：尾上 庄次郎 吉永 秀俊 大安 義和 大石 俊郎 口木 俊二

